

千葉県スポーツ少年団軟式野球交流（低学年）大会 大会競技規則

【大会競技規則】

1. 本大会は、2025 年度「公認野球規則」並びに全日本軟式野球連盟「競技者必携書」及び「大会特別規則」を適用する。また公認野球規則は「規則」、競技者必携は「必携」と略す。
2. 「規則」及び「必携」文書上の「連盟」または「リーグ」の表記を「スポーツ少年団」と読み替える。
3. 表記内容に重複がある場合は「大会特別規則」を優先する。

【大会特別規則】

（出場資格及びチーム構成）

1. 大会の出場資格は、公益財団法人千葉県スポーツ協会千葉県スポーツ少年団の登録団員であり最終日の試合まで参加できるチームでなければならない。
2. チーム構成は、成人者による代表者、監督、コーチ（2名以内）、スコアラーと選手（小学1～4年生）10名以上20名以内とし、日本スポーツ協会認定有資格者が2名以上いなければならない。
3. 出場チームは、地区予選も含め選手を他のチームから補強及びその他の不正を行うことを禁止する。
4. 町・村に登録チームが1チームしかなく、尚且つ、登録団員が小学生3年生以上で10名に満たない場合には、同じ条件の近隣の町・村のチームと合同チームを構成することができる。

（服装・用具）

1. 服装・用具は「規則」「必携」に準ずる。
2. 上記の4にて認められた合同チームの場合、自チームのユニフォームを使用する事ができる。

（開会式）

1. 大会に出場する選手は、開会式に参加するものとする。これに違反した場合は試合に出場することができない。ただし、学校行事、疾病など特別な理由がある場合に限り、軟式野球専門部長の許可を得れば試合に出場することができる。

（試合の集合・準備）

1. 第1試合のチームは、試合開始予定時刻の1時間前までに試合会場に到着し、球場責任者による受付を終了すること。その後の試合のチームも同様とする。
2. 試合中止の場合は、大会本部から連絡する。雨天等判断が困難な場合は、定められた時間までに試合会場に到着し、大会本部の決定に従うこと。
3. 打順表（メンバー票）は必ず所定の用紙を使用し、第1試合は試合開始時刻の40分前、第2試合以降は前の試合の3回終了時に提出する。提出は、監督と主将が5部持参し、グラウンドルール等を確認すること。

4. 28、29、30番ユニフォーム着用の監督・コーチは、試合開始前の練習の補助及び控え捕手の代わり（試合中も含めて）を務めることができる。
5. シートロックする監督又はコーチは安全を確認し、ボール渡しをする選手は、必ずヘルメットを着帽させなければならない。

（試合時間等）

1. この大会の試合は、トーナメント戦とし5回均等回で勝敗を決することとするが、タイムゲームを採用する。1試合75分を超えた時は新しいイニングに入らずその時点の得点をもって勝敗を決する。同点の場合は直ちに特別延長戦に入る。決勝戦も同様とする。ただし、大会初日と二日目は延長戦をおこなわず引き分けとする。
2. 5回終了時で同点の場合は、時間内であっても、ただちに特別延長戦に入る。
3. 得点差によるコールドゲームは、4回均等回以降10点差のとき適用する。
4. 日没、降雨によるコールドゲームの適用は4回終了後適用する。4回終了前については再試合とし、後日の第1試合前に行う。日没、降雨での試合中止の判断は、球場責任者、球場責任審判員、球審・塁審が協議して決定する。
5. 試合中のタイムの回数は「必携」の「§5 試合のスピード化に関する事項」に準拠する。
6. 投手の投球数は「必携」の「§2 競技に関する連盟特別規則」《学童部》の7項に準拠する。

（試合）

1. 本大会では試合中、ベンチ入りを許されている者は電子機器等（携帯電話・パソコン・ビデオカメラ・カメラ・携帯マイク等）を持ち込むことができない。
2. 各チームの応援団及びベンチは、相手チームをリスペクトすること。執拗な抗議や悪質な野次に対しては、大会本部、球場責任者、責任審判員、当該審判員から断固たる処置を命じる。
3. 本大会では指名打者制度は適用しない。
4. ベースコーチには選手以外に指導者（28～30番）がなることができる。

（タイブレーク戦）

1. タイブレーク戦は、前回の継続打者が先頭打者となり、走者は、前回の最終打者が1塁走者、2塁の走者は、順次前の打者とし、無死1，2塁で1イニング行い、得点の多いチームを勝者とする。1イニングで勝敗の決定しない場合は更にもう1イニング行う。それでも勝敗が決定しない場合は、抽選とする。